

せっせっせーの よいよいよい



ふと、子どもが小学生だったころの手遊び歌を思い出しました。

“お寺の和尚さんがかぼちゃの種を蒔きました。

芽が出てふくらんで、花が咲いたらじゃんけんぽん！”

わたしたちの事業の種、このだいじなだいじな小さな種が

いよいよ芽を出したんだなあ

と

やらなければならない仕事の多さに苦闘（苦悶）しながらも

じんわりこみ上げる嬉しさを感じた次第でした。

*

閑話休題。

*

10月最終水曜日に

事業に関わるすべてのメンバーが初めて集結しました。

多様な主体（マルチステークホルダー）の体現者である皆さんは

それぞれに初対面という方々もいらっしゃいましたが

子どもたちの学習支援という

共通の目標のために愛伝舎の船に乗ってくださった方々なので

すぐに意気投合！

活発な意見を交わすことができました。

会議では

ブラジルのお菓子“ボンボン（ショコラチ）”と

ブラジルの母語であるポルトガル語由来の日本産“カステラ”が

机の上に花を添えて多文化共生していました♪

芽が出た事業の種がどんなふうにくらむのか楽しみです。

今後の予定

11月3日 保護者説明会

11月10日～ 学習教室開始

12月13日 定期委員会

